

プログラム名	<b>おもいやりの心を育む「おも活」</b>		
団体名	公益財団法人日本ケアフィット共育機構		区分 <b>講 師</b>
対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 他 ・小学4～6年生が中心 ・東京23区、大阪（他地域要相談） ・オンラインも可	対象分野	<input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 学外 <input checked="" type="checkbox"/> 研修 特別授業・放課後教室・地域のイベントで実施。教員向けの研修も可能です。

### プログラムのねらい

障害を含めて相手の立場をおもいやる行動をするためのワークを交えた授業です。  
 “おもいやりの行動”には2つの要素があります。  
 ・困りごと気づいて動く  
 ・違いを認め合い、相手の立場になって考える  
 困りごとや相手の立場とはどういったことなのかを、障害当事者も交えてお伝えします。児童の皆様に身近な学校のことや障害者の例を題材に想像・発表していただくことで、多様性の理解や自分に何ができるのか考え、行動できる力を養います。学習指導要領で求められる心のバリアフリーの実践に繋がります。

### プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

#### ■カリキュラム

- ①挨拶・オリエンテーション  
…講師自己紹介
- ②おもいやりって何だろう  
…どのような行動が思いやりなのか、考えます
- ③困りごとって何だろう  
…ちがいを考えられていないことによって、社会や環境が困りごとを生み出していることを学びます
- ④真っ暗な世界  
…別の世界に行くと想定して、ちがいや困りごとを想像力豊かに考えます
- ⑤色々なちがいについて考えてみよう  
…身近にも様々なちがいがあり、困りごとが生まれていることを学びます
- ⑥質疑応答、まとめ  
…障害当事者への質問、明日からできることを考えます



例えば視覚に障害がある人が、信号の色がわからず困っていた時…自分には何ができそうか、信号機にどんな工夫があれば1人でも安心して渡れるか、考え発表していただきます。



令和2・3年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他（専門学校） 令和2年度実績（都内）13校（回）                      令和3年度実績（都内）13校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）

### 支援活動の概要紹介

公益財団法人日本ケアフィット共育機構は、「誰もが誰かのために共に生きる社会」を目指し、「あらゆる場面でケアをフィットする」ことを使命としております。そのひとつとして、「おもてなしの心」と「正しい介助技術」を持ちあわせた「サービス介助士」を育成し、現在、20万人以上のサービス介助士が街中で活躍するようになりました。そして、「心のバリアフリー共育」「障害の社会モデル」の理解を多くの人に浸透させるため、「チーム誰とも」を立ち上げ、啓発運動を実施しております。その一環として「おも活」を子供たちに伝えております。今後も、「誰もが誰かのために共に生きる社会」「本当の意味での共生社会」を実現するために、「共育活動」と「実践活動」を通して考えつづけ、行動してまいります。

対応可能な時期	必要経費	講師料、講師交通費
その他 会場・定員・必要備品などについて	会場:視聴覚室等のPCを投影できる教室(複数クラスを続けて実施する際は、同教室を連続で使用させていただきます) 時間:1回45分 定員:1クラスもしくは40名程度 ご準備いただくもの:プロジェクター、スクリーン、PC、HDMIケーブル(弊機構からはUSBメモリのみ持参いたします) 費用:応相談 派遣者:サービス介助士1名、当事者講師1名	
連絡先	部署名・担当者	おも活担当:三船、岩橋、荒井、水上
	プログラム紹介WEB	<a href="https://www.carefit.org/personal/omokatsu.php">https://www.carefit.org/personal/omokatsu.php</a>
	電話	0120-0610-64
	e-mail	sot-sat@carefit.org